

コンクリート基礎を持たない土石流捕捉工 「L型スリットダム」^{*1}

西川 修司^{*2} 和田 浩^{*3} 山口 聖勝^{*4}

Debris Flow Control Structures without Concrete Bases “Steel Pipe L-Type Slit Dam”

Shuji Nishikawa, Hiroshi Wada, Masakatsu Yamaguchi

1 はじめに

近年、治山・治水事業において、望ましい自然環境の創出や環境保全を目的として、多様な取り組みがなされている。

土石流捕捉工としての従来型鋼製スリットダムは、河道を閉塞しない構造のため、渓流景観を遮断することなく、また水生動物の移

の基礎部は受圧板付き杭と簀の子状底部とからなっており、上部正（スリット部）は柱と横梁を組み合わせて上流側にコの字状に開いた構造となっている。

それぞれのユニットは、その施設としての目的に応じて、一般に Fig. 2 に示すように $1.5 \times D_{\max} \sim 2.0 \times D_{\max}$ (D_{\max} : 対象とする土石流の最大礫径) 程度間隔をあけて河川の横断方向に設置される。つまり、土石流を捕捉する場合は $1.5 \times D_{\max}$ 、土石流のピーク流量を

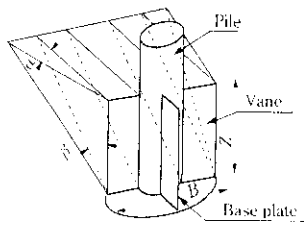
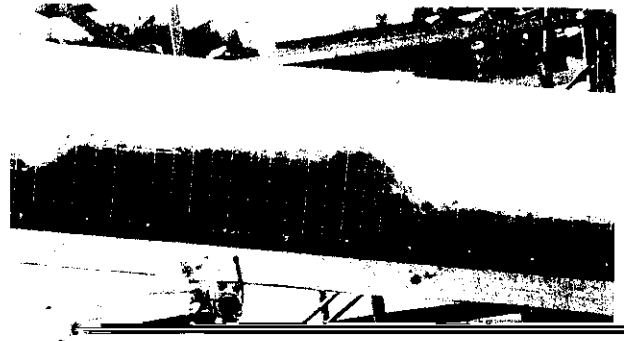


Fig. 3 Yielding wedge



参 考 文 献

- 1) 渡辺正幸・水山高久・上原信司：「土石流対策施設に関する検討 ― び動的な水平載荷実験 ―」 砂防学会誌（新砂防） 43(1990)2 25